

# 第1学年 国語科 学習構想案

## I 単元構想

単元名	くらべてよもう「どうぶつの赤ちゃん」		
単元の目標	(1)共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 <span style="float: right;">〔知識及び技能〕 (2) ア</span> (2)文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 <span style="float: right;">〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) ウ</span> (3)言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、進んで思いや考えを伝え合おうとする。 <span style="float: right;">〔学びに向かう力、人間性等〕</span>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	①学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
比べる観点を明確して文章を読むことで、説明されている事柄の共通点や相違点を判別できることに気づき、他の説明文を読むときにも、事例を比べながら読もうとする姿			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
オリジナルの「どうぶつの赤ちゃんずかん」を作り、読み合おう。		文章中の共通する言葉を見つけ、それが比べる観点であることに気付くこと。	
指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時7/10）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題名や挿絵から、様々な種類の動物とその赤ちゃんがいることに興味をもつ。</li> <li>○ なぜ、本教材では「ライオンの赤ちゃん」と「しまうまの赤ちゃん」の2種類が取り上げられているのか課題意識をもつ。</li> </ul>	【態①】（ワークシート）
二	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章全体を「問い」「ライオンの赤ちゃん」「しまうまの赤ちゃん」の三つのまとまりに分ける。</li> <li>○ ライオンとしまうまの赤ちゃんの説明で共通している言葉（あいことば）を探し、比べる観点を つくる。</li> <li>○ ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたときの様子を比べながら読み取る。</li> <li>○ ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の様子を比べながら読み取る。</li> <li>○ なぜライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんなのか、事例の関連性を考える。</li> </ul>	★【知①】（ワークシート、発言） ○ 比べる観点を明確にして、文章を読み、情報を取り出している。 ★【思①】（ワークシート、発言） ○ 「問い」に対する「答え」について、共通している言葉に気付いている。 ★【思②】（ワークシート、発言） ○ ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を、比べる観点を手がかりに、必要な言葉や文を選びながら読んでいる。
三	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>カンガルーの赤ちゃんについて、比べる観点を手がかりにして他の動物との違いを捉える。</u>                      （本時）</li> <li>○ オリジナルの「どうぶつの赤ちゃん図鑑」を作るために情報を集める。</li> <li>○ 調べたことをもとに、書き方を意識しながらオリジナルの「どうぶつの赤ちゃん図鑑」を作る。</li> <li>○ 「どうぶつの赤ちゃん図鑑」を友達と読み合う。</li> </ul>	★【思②】（ワークシート、発言） ○ カンガルーの赤ちゃんの説明文を、比べる観点を手がかりに必要な言葉や文を選びながら読んでいる。 ★【知①】（図鑑、発言） ○ 図鑑などで調べた情報を再構築し、自分なりの「どうぶつの赤ちゃん」を作っている。 ★【態①】（発言） ○ 図鑑を読み、粘り強く自分が知りたい動物について調べている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)			
小学校学習指導要領第1学年及び第2学年 [知識及び技能] (2) 情報の扱い方に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] 「C 読むこと」			
教材・題材の価値			
本教材は、対照的な二つの動物(ライオンとしまうま)を取り上げているので、対比がしやすい。明確な対比構造の文章であるため、違いに驚き、なぜこんなに違いがあるのか、他の動物はどうなっているのかという興味・関心も高まる教材である。			
本単元における系統			
1年「くちばし」 「問い」と「答え」を捉えて読む。	1年「うみのかくれんぼ」 大事な言葉を確認しながら読む。	1年「じどう車くらべ」 説明の順序に気をつけながら読む。	1年「どうぶつの赤ちゃん」 特徴の違いなどを比べて読む。  2年「おにごっこ」 大事な言葉や文を見つける。
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)			

## 3 指導に当たっての留意点

(本校研究の取組の視点より)

### ① 学びを活かし、つなげる児童の姿を明らかにした授業づくり

- 教科書の教材を扱ったあとに、動物の赤ちゃんクイズをすることで定着を図るとともに、必要な情報を判断することができるようにする。
- 既習事項と結びつけるために、「くちばし」「じどう車くらべ」で学習した「問い」と「答え」の形について確認する。
- 学習中の児童の発言やみんなで考えたこと、分かったことを教室に掲示することで、理解の助けとする。
- 振り返りの活動では、友達の考えを取り入れることができるようにする。

### ② 言語能力・情報活用能力を育むための授業づくり

- 全文プリントを用意し、大事な言葉に色分けをしていくことで、文章の構造を視覚的に分かりやすくする。
- 単元の導入で、教科書の挿絵だけを提示し、比べるよう促すことで絵だけでは推測しかできないことを押さえ、挿絵と文章を関連付けて読めるようにする。
- 二つの動物の赤ちゃんの事例に共通する言葉(あいことば)を見つける活動を設定することで、物事を比べるためには観点を揃える必要があることに気づかせ、「比較」という汎用的な思考を育む。
- 学習活動ソフトウェアの発表ノートを使い、児童の考えを集約したものを大型テレビで提示することで、お互いの考えを共有しやすくする。
- 単元の終末で、オリジナルのどうぶつの赤ちゃん図鑑づくりを仕組むことで、収集した情報をメモしたり、文章構成や表現に気をつけながら再構築したりする場を設定する。

～教科横断的な単元(題材)の配列～

- 生活科で虫の飼育をし、虫図鑑を作ったことを想起させることで、学びの広がりを意識させる。

※「人権が尊重される授業づくりの視点から」

- ・教師が児童の発言を肯定的に評価するとともに、他の児童に「お返し」をするように促すことで、互いの考えの違いを認め合い、友だちの考えのよいところを取り入れる授業づくりを行う。

4 本時の学習

(1) 目標

カンガルーの赤ちゃんの生まれたときの様子や成長の様子について、比べる観点を手がかりに共通している言葉に気づき、ライオンやしまうまの赤ちゃんとの違いを捉えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
あ	5分	<p>1 本時の見通しをもつ</p> <p>①ライオンとしまうまの赤ちゃんの関係性について振り返ることで本時の価値への方向付けを図る。 ◇しまうまの赤ちゃんは、ライオンにねらわれるから成長が早い。他の動物はどうなんだろう。</p> <p>②挿絵を見て、「カンガルーの赤ちゃん」の説明に書かれている事柄を推測する。 ◇とても小さいな。「大きさ」のあいことばがあるかもしれない。 ◇どちらがうのか読んでくらべてみたいな。</p>	<p>○前時までの学習で分かったことを教室に掲示しておくことで、振り返りやすくする。</p> <p>○ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの比較表(授業では「おへや」)の一部を付箋で隠したものを提示し、これまでの学習を振り返る。</p> <p>○本文を読む前に、大型テレビでカンガルーの赤ちゃんの挿絵を提示することで、比べる観点を想起させる。</p> <p>○カンガルーの赤ちゃんを、何と比べて読むのかを明確にすることで、既習事項を生かして読み取ることができるようにする。</p>
<p>【めあて】あいことばをつかって、カンガルーの赤ちゃんのおへやをつくろう。</p>			
り さ	30分	<p>2 めあての達成に向けて活動する。</p> <p>①自分の考えをもつ。 (あいことばをもとに、カンガルーの赤ちゃんの特徴を探し、タブレットパソコンに配信されたテキストに印を付ける。) ◇「うまれたとき」という同じ言葉があった。 ◇「おちちをのんで」という言葉を見つけたよ。</p> <p>②他者との対話により、考えを広げ、深める。 (学習活動ソフトウェアの発表ノートを使って、児童の考えを集約し、大型テレビで提示する。) ◇ライオンは自分で歩けない、しまうまは自分で立ち上がる、カンガルーは「じぶんのちからでおなかのふくろにはいります」が動きかな。 ..... 【期待される学びの姿】 ..... カンガルーの赤ちゃんの説明について、ライオンやしまうまの赤ちゃんの比較の観点を手がかりに、生まれたときの大きさやお乳を飲む期間などのあいことばを探しながら読み、ライオンやしまうまの赤ちゃんとのように違うのかに気づいている。</p>	<p>○音読をし、これまで学習した二つの動物の説明と共通している「あいことば」(比べる観点)に気づかせるとともに、教材文の面白さ、驚きを共有する。</p> <p>○大型テレビに「どうぶつの赤ちゃん」の文章全体を提示することで、共通している言葉のある段落に着目しやすいうようにする。</p> <p>○発表ノートの画像合成機能を使って、児童全員の考えを集約し、大型テレビに提示することで、お互いの考えを共有しやすくし、自分の考えを広げたり、明確にしたりできるようにする。</p> <p>【具体的評価規準】思②</p> <p>○カンガルーの赤ちゃんの説明文を、ライオンやしまうまの赤ちゃんの比べる観点を手がかりに共通している言葉を探しながら読み、必要な言葉や文を選んでいる。</p> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○ライオンとしまうまの赤ちゃんの比較表を示して、比べる観点とカンガルーの赤ちゃんの説明の中でその事柄が書かれている段落を個別に問うことで考えを確かめる。</p>
こ	10分	<p>3 本時のまとめをし、めあてに対する振り返りをする。</p> <p>①動物の赤ちゃんクイズをし、学んだことを活用させ、理解を確かなものにする。</p> <p>.....</p> <p>【まとめ】あいことばをつかうと、カンガルーの赤ちゃんとはほかのどうぶつの赤ちゃんのちがいがよくわかった。</p> <p>.....</p> <p>②振り返りを記入する。 ◇友達の話聞いて、「大きさ」のあいことばがどこにあるか分かったよ。</p>	<p>○担任の作った図鑑から、「わたしはだれでしょうクイズ」を出題することで、学んだ文章構成を活用して必要な情報を選ぶことができるようにする。</p> <p>.....</p> <p>○振り返りを発表する時間を設定し、友達の学びを自分の考えに生かすことができるようにする。</p>

## 【板書計画】

**ま**

あいことばをつかうと、カンガルーの赤ちゃんのほかのどうぶつの赤ちゃんのちがいがよくわかった。

・いちばん小さい  
・おちただけのむじかながない

カンガルーの赤ちゃんの挿絵

カンガルーの赤ちゃんの挿絵

カンガルーの赤ちゃんの比較表

**め**

あいことばをつかって、カンガルーの赤ちゃんのおへやをつくろう。

ライオンとしまうまの赤ちゃんの比較表

オリジナル「どうぶつの赤ちゃんずかん」をつくろう。

どうぶつの赤ちゃん ますいみつこ

## 【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

【提示①】ライオンとしまうまの赤ちゃんの比較表の一部を付箋で隠したものを大型テレビで提示し、学習したことを振り返らせる。

【提示②】本文を読む前に、大型テレビでカンガルーの赤ちゃんの挿絵を提示することで、比べる観点を推測させる。

【共有①】画像合成機能を使って集約した児童の考えを大型テレビで提示し、お互いの考えを共有する。

【共有②】動物の赤ちゃんの特徴についてのオリジナルテキストを、児童用タブレットパソコンに配信し、「わたしはだれでしょう」クイズをする。

※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など（シーンに応じて活用計画を立てる）

## 【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

単元の終末では、見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

○学習したことの理解を確かなものにし、必要な情報を素早く判断することができるようにするために、動物の赤ちゃんクイズをする。

○本単元で働かせた「比較」の見方・考え方を生かして、自分が知りたい動物について調べ、オリジナルの「どうぶつの赤ちゃんずかん」を作る活動をする。